

町政に対する一般質問



12人が登壇

9月定例議会は、12人の議員が一般質問を行いました。質疑応答の要旨は質問した議員が要約したものです。なお会議中の発言と答弁は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(12月上旬掲載)

伊奈町議会

ページ	質問議員	質問事項
6	水上邦雄	●奨学資金貸付事業実績は ●給付型奨学金制度推進を ●働きながら学べる環境づくりを ●1934年に県の史跡指定をうけた丸の内地区の今後の方向を住民との合意で ●境橋の完成を受けて
7	上野尚徳	●伊奈町の施設、土地について ●伊奈町の地域包括ケアシステムへの取り組みについて ●優良田園住宅の建設による農地の有効活用について
7	栗原恵子	●丸山地区・下郷地区の活性化について ●業務継続計画（BCP）について ●財源確保について ●地域振興・観光振興を図るために
8	藤原義春	●町民プールの新設について ●薬物撲滅キャンペーンについて ●出会い系サイトなどの誘惑の危険性について ●小学校・中学校の教科書選定基準について ●南部大公園のトイレについて
8	戸張光枝	●中学校の運動部活動 ●検定料補助 ●児童クラブについて
9	齋藤照夫	●住んでみたい伊奈町住み続けたい伊奈町への具現施策 ●町内農業発展への具現施策
9	大沢 淳	●懸案事項の早期解決へ向けて ●地方公会計の整備と財政シミュレーション ●実践的な防災訓練で災害に強いまちづくりを ●敬老祝い金制度の今後 ●就学援助制度の充実
10	奥田とみ子	●B型肝炎ワクチン定期接種化 ●高齢者肺炎球菌ワクチンの進捗状況 ●東京オリンピックを見据えた対策として
10	中原敦子	●災害時におけるペットの救護対策の進捗状況 ●児童福祉法改正をふまえて
11	五味雅美	●来年度予算の編成方針と町長公約は ●子どもの貧困対策を ●野生動物の対応について
11	上野克也	●厳しい財政状況での次年度以降の取組みと考え方について ●伊奈町の都市農業政策
12	佐藤弘一	●県道蓮田・鴻巣線の渋滞について ●小針新宿区内の道路の整備について



家康をまつたといわれる丸の内の権現堂

史跡地 丸の内地区の活用は 住民との合意で



みずかみくにお
水上邦雄 議員

問 史跡指定地に現住する世帯数と地権者数は。
答 22世帯、地権者数は65名となっている。
問 裏門の障子堀、権現堂の桜（地区の皆さんが今春、数種類植樹）、船着場跡、物見塚等を活かした散策コースの整備を。
答 プロジェクトチームを設置後、歴史的経緯や

文化財保護の観点から、検討していく。
問 観光と住民生活の向上の両立を。
答 丸の内地区及び隣接する地区の未耕作地の活用については、農家の方々と調整を図りながら検討していく。
夢は観光スポットとして整備すること、さら

の名所にするこことや、町を果樹の特産地として後世に残したい。（町長）
働きながら学べる環境づくりを

問 町内企業による通学時間に配慮した雇用の推進を。
答 技術の継承や習得は、経験の積み重ねや新しい理論を学ぶことが重要。

働きながら学ぶことについて商工会を通じ町内企業に働きかけていく。

給付型奨学金制度について

問 文部科学省が2018年度実施に向け検討している。制度の隙間をつくらぬ施策が必要。
答 県・民間の貸付制度を周知していく。

農地・休耕地の有効活用
新たな「まち」づくりを



うえの なおのり
上野尚徳 議員

農振地域除外、農転許可、減税、道路・公共施設整備補助。国が後押しする

優良田園住宅の活用を

問 様々な支援があり、伊奈町らしい自然に配慮した開発、人口減少対策となり得る優良田園住宅の建設は農地（休耕地）の有効活用、町の活性化につながるかと考えるが。

答 農地有効活用の促進や町の活性化につながる施策と考えられるが、現状では難しい。県内の動向を注視しながら調査、研究していきたい。

住民サービスの要となる町の施設・土地

問 町が借りている土地とその賃料は。

答 配水場、クリーンセンター用地他、全8万2千8百㎡。3千9百43万円。

問 配水場、クリーンセンター等、町民の生活に重要な施設の土地は取得するべきでは。

答 可能であれば所有したいが、地権者の意向、町の財政上の問題等、総合的に慎重に考えていく。

要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを

町民に信頼され頼られる地域包括ケアシステムを

千8百㎡。3千9百43万円。



2040年には、65歳以上の町民がほぼ倍に（2010年と比較）町の特性に合い、機能し信頼される地域包括ケアシステムの構築

問 システム構築の経緯と現状、今後の展開は。

答 医師、介護関係者からなる協議会を立ち上げる。地域での支え合いの仕組みづくり。制度の周知、意識付けを行う。

※
業務継続計画（BCP）の推進を



くりばらけいこ
栗原恵子 議員

問 庁舎が被災した場合の代替施設および通常業務は。

答 役場が被災し、業務に支障が出る場合には、災害対策本部を置く総合センターが優先。ふれあい活動センターは非常時における代替施設の一つとして活用できるものと考えている。

問 丸山地区・下郷地区の活性化は。

答 当時の状態で残っている環境を活かし権現堂の周囲をはじめとする町道を散策路として整備、案内看板を設置し訪れた方に伊奈の歴史、文化を伝えたい。今後は商工会や忠次友の会などの関係団体をメンバーとする組織を立ち上げる予定。



近隣のご当地ナンバープレート（見本）

問 ご当地ナンバープレートの導入は。

答 導入時期については町制施行50周年記念事業時も含め検討したい。

問 財源確保のため、ネーミングライツの導入を。

答 ネーミングライツ制度の活用は新たな歳入確保につながる可能性がある。今後、スポンサーにネーミングライツの対象として検討していただけるよう町施設の魅力アップについて研究する。

※業務継続計画とは
事業が継続できなくなるリスクを事前に分析・想定し、継続に必要な最低限の業務や復旧時間と対応策などを定めた包括的な行動計画のこと。

南部大公園のトイレの改修!



ふじはらよしはる
藤原義春 議員

問 スポーツ利用の多い南部大公園のトイレが、臭くて汚く、使えないという苦情が多い。今の和式トイレを洋式トイレに改修してほしい。

答 南部大公園は、幅広い年代の人たちが利用している。来年度、和式トイレのひとつを洋式トイレへ改造する方向で検討

したい。和式トイレも必要なので、ひとつは和式のまま残す。

薬物の撲滅について

問 有名人の覚せい剤取締法違反などで、テレビで薬物を取り上げられている。子供たちに、薬物の危険性について正しい知識を教えるべきでは。

答 警察関係者や学校薬



来年度、トイレが改修される南部大公園

剤師など外部講師を招いて、薬物乱用防止教室を開催して、生徒及び保護者に薬物の危険性を教えている。

出会い系サイトの誘惑の危険性を教えることについて

問 スマホで簡単に出会い系サイトを見ることができ。しかし、出会い系サイトを利用したら、大変なことになる。その危険性を子供たちに教えるべき。

答 「ネットアドバイザー」を各学校に派遣したりして、情報モラル教育を実践している。18歳未満の児童生徒の出会い系サイト利用が法律で禁止されていることも教えて指導している。

中学校の運動部活動



とばりみつね
戸張光枝 議員

問 生徒のニーズや意見の把握それらを反映させた計画がなされているか。

答 各部活動では、生徒の多様なニーズを把握し、部活動の効果を一層高めるため様々取り組みを行っている。各種検定試験を受けることもあって生徒のニーズを受けとめた対応も必要であると考

えている。
問 行き過ぎた指導の現状は。

答 勝つことのみを指導することのないよう生徒が生涯にわたってスポーツ等に親しむ基盤を育むことに十分留意する必要があると捉えている。
問 過度な遠征と保護者の負担の現状把握は。

答 目的や利点、負担について学校・生徒・家庭の間で十分なコミュニケーションを取り適切な対応が図れるよう、各学校を指導しているところ。

問 具体的な対応策・改善点は。健康スポーツ医の活用現状とお考えは。
答 現時点では、健康スポーツ医は活用しているが、今後、費用対効果を含め検討する。子供達が生涯にわたる健康な心と体を培い、豊かな人間関係を育むために、部活動が適正に実施されるよう各学校を指導していく。



スポーツは次代を担う青少年の体力を向上実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響

※ 他に検定料補助について、児童クラブについて質問しました。

大規模な地震が起きた場合の町の対策は



さいとうてるお
齋藤照夫 議員

町の災害対策について

問 大規模な地震や災害が発生した場合の町職員の招集マニュアルなどはできているのか。

答 当町において震度5弱以上の地震が発生した場合「動員計画」に基づき職員は自主的に参集することになっている。子供やお年寄りなど

弱者対策はどうか。

答 「伊奈町避難行動要支援者避難支援プラン個別計画名簿」への登録希望者の情報については、町と各区長および民生委員などと定期的な訪問や声かけなどの見守り対策を実施している。

問 職員の半数が町外居住であるが災害時の参集

時間は。

答 大規模地震が夜間・休日の勤務時間外に発生し、徒歩や自転車で参集した場合3時間以内で80%、5時間以内で94%が参集と予測している。

町内産業発展について

問 指名競争入札には本店が町内にあることを指名基準に入れるべきと思うがどうか。

答 工事等の発注については公平性、透明性を確保し適正な競争が大前提である。基本的には指名参加資格を有している業者の中から業者選定を行っている。町内産業優先の観点も配慮しながら指名業者の選定を行っている。と考えている。



災害時に命をつなぐ非常用保存食

敬老祝い金制度の今後



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 削減案は前町政において、議会で否決されたものであり、当面は現行制度を維持すべきでは。

答 祝い金としてだけでなく敬老事業のあり方として、高齢者にとつて楽しみであり、みなさまに喜んでいただけるような事業として様々な角度から総合的に検討したい。

町財政の将来シミュレーション

問 作成状況と公表を。

答 平成35年度までの簡易的なシミュレーションをおこなった。今後も年度ごとの更新や想定条件の見直しを図り、公表に向けて研究したい。

災害に強いまちづくり

問 実践的な防災訓練を。



防災訓練では、テントや仕切り用段ボールなどが組立てられました

答 8月27日に実施した防災訓練では、住民の方が主体となるよう、伊奈中学校体育館では実際に避難所で必要となる物資受け取りや備品の組み立てなどをおこなった。今後も自主防災組織や多くの住民の方が参加できるように、訓練内容をさらに充実させたい。

就学援助の充実

問 準要保護認定基準は。

答 両親と子ども2人の4人世帯の場合では、総所得金額で355万円以下が目安となる。

問 新入学準備金の支給

が入学後では、ランドセルや制服が入学式に間に合わない。各地で実施され始めた入学前支給を

答 今後研究したい。

B型肝炎ワクチン定期接種化！町の対応は



おくだ
奥田とみ子 議員

問 10月1日から、ゼロ歳児を対象にB型肝炎ワクチンが定期接種化される。平成28年4月1日以降の出生児が対象で、1歳に至るまで3回接種する。対象から漏れたゼロ歳児に向け対策は。

答 予防接種法の接種対象に該当しないため、全額自己負担になる。

問 1歳から4歳児は、持続感染に移行する確立が20〜50%と高い。ゼロ歳児は更に高く、90%の確立で移行する。公費負担の機会が与えられないのは公衆衛生予防から問題。3歳になるまでの2年間、時限措置として一部助成はできないか。

答 定期接種の状況、他



みなさんの健康といのちを守る健康増進課です。ワクチンのお問い合わせはこちらに

問 市町や町の財政状況を見て研究していく。
高齢者肺炎球菌予防接種の進捗状況

問 本事業は、平成26年から事業化され、3年を経過している。接種率は29・7%と他市町に比べ低い、接種率向上の対策は。

答 今年度から、対象者に個別通知を送り、接種率40%を目指していく。
東京オリムピックを見据えた対策

問 行政からの郵便物に英語表記を加える。また、庁舎内の各窓口にも多言語通訳可能なタブレットを設置する考えは。

答 多言語通訳は、スマートフォンで対応。国際化に向け研究していく。

「動物救護対策マニュアル」の作成状況は



なかほらあつこ
中原敦子 議員

児童福祉法改正をふまえて

問 子育て支援センターは、児童等に対する必要な支援を行うための拠点となり得るか。

答 町の既存の子育て支援センターや保健センターが連携することで、妊娠から子育て期までの切れ目のない支援が図られると考えている。

問 ※要保護児童対策地域協議会の調整機関に、専門職を配置することが義務付けられた。来年の4月に向けて、現段階で考えている対応は。

答 「調整担当者は厚生労働省令の定めにより、厚生労働大臣が定める基準に適合する研修を受け



災害時のペットの飼養は、飼い主の責任で行います
そのためには日頃から、ケージやキャリーケースで過ごせる練習が大切です

ること」とされたため。町として今年度1名が、県主催の「児童福祉司任用資格認定講習会」に参加予定である。

災害時におけるペットの救護対策の進捗状況

問 「動物救護対策マニュアル」の作成状況は。

答 環境省が現在改訂版を作成中の「災害時におけるペット救護対策ガイドライン」や近隣自治体のマニュアルを参考に、引き続き研究していく。
※要保護児童対策地域協議会
虐待を受けた子どもを始めとする要保護児童等に関する情報の交換や支援を行うために協議を行っている。法的に位置づけられている。

来年度予算、高校生までの医療費無料化は



ごみまさみ
五味雅美 議員

問 「高校生までの医療費無料化」は来年度実現でよいか。

答 財政その他の課題があり難しい。検討続ける。

問 待機児童ゼロの継続は、認可保育園の増設で。

答 ニーズに応えたい。

問 「いじめ」などの「問題行動」はおとなや社会が抱える問題が背景にあ

る。暴力の連鎖を生む体罰をなくし、子どもの自主性を高めるように。

答 早期発見早期対応に努める。

問 学力向上は、旺盛な好奇心を育て、知る楽しみ、解決する喜びの積み重ねが重要ではないか。

答 一人ひとりの学力が向上するよう支援する。

その他路線バスの超低床ノンステップ化で利便性を向上する。

「子どもの貧困」が広がっている、施策の強化を

問 原因は非正規雇用の急増による貧困の拡大に加え、社会保障や教育支援が貧弱なために防波堤の役割を果たさず、親の貧困がそのまま「子どもの貧困」に直結してしま

うことにある。働いても貧困から抜け出せず、教育にお金がかかりすぎるのに支援が貧弱な異常な国となっている。見落とされている子どもはいないか実態の把握を。

答 該当する子供が一定数いるものと認識している。子どもの貧困を視点とした施策は少ない。



広がる「子どもの貧困」からすべての子に希望を

次年度以降の、町の財政への取組みと考えは



うえのこくや
上野克也 議員

問 財政は厳しい状況にある。町債発行残高110億円以上で、一般会計と同額、貯金に当る財政調整基金も3億円以下で

厳しい。総合振興実施計画や町長公約への取組み、および、経営感覚を取り入れた財政運営の考えは。

答 事業の見直し、選択と集中を行い、優先度や貢献度を考慮し対応する。また、基金残についても早急な積立が必要と認識し、コストの削減、国庫の補助金及び交付金が活用できる事業を選択し基金を積立てる。また、公

共施設等総合管理計画も固定資産台帳の整備と合わせ作成に取組んでいる。また、税の収納率を上げることや償却資産税の導入をする。

問 耕作放棄地の農業政策

伊奈町の都市耕作地と耕作放棄地の

現状と今後の展開は。

答 水田の耕作放棄地全体は15・4％で、綾瀬川沿線は放棄地9・9％である。畑や果樹園の放棄地は1・8％である。

放棄地解消に向け農地パトロールを実施、所有者に解消指導と意向調査を実施し農地中間管理機構の利用など指導している。

問 農業生産での伊奈町の強みは。

答 生産者が直売所「四季彩館」に出荷、地産地消システムが確立している。今後、さいたま市や川口市など消費地への供給が期待できる。

一般会計の歳入の推移

主な項目別歳入	H25年度		H26年度		前年比		H27年度		前年比		H28年度		前年比	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
町税	5,408,456	103.0%	5,568,214	103.0%	103.0%	5,576,066	100.1%	5,369,797	96.8%					
地方消費税交付金	344,820	121.2%	418,002	121.2%	121.2%	692,101	105.0%	690,000	99.7%					
地方交付税	931,561	92.8%	884,068	92.8%	92.8%	882,167	99.8%	822,496	95.4%					
国庫支出金	993,338	129.1%	1,291,915	129.1%	129.1%	1,391,350	108.5%	1,405,200	101.0%					
県支出金	697,657	121.7%	849,012	121.7%	121.7%	880,292	103.7%	826,767	93.9%					
繰越金	642,128	92.6%	564,576	92.6%	92.6%	510,297	85.8%	547,501	107.3%					
町債	803,600	147.6%	1,196,467	147.6%	147.6%	845,851	71.3%	920,021	108.9%					
合計	10,542,186	111.3%	11,738,301	111.3%	111.3%	11,611,895	98.9%	11,379,842	98.0%					

町税、地方交付税など伸びが少ない

伊奈町の都市農業政策
耕作地と耕作放棄地の

小針新宿区遅れている道路整備



さとうこういち
佐藤弘一 議員

問 県道蓮田鴻巣線六道交差点と、寿二丁目交差点は、朝の通勤時の右折が多く渋滞している。渋滞解消すべきだ。

答 朝夕の時間帯には多くの車両が通行することから、右折帯が整備されていないことが渋滞発生

の原因と認識している。今後も北本県土整備事務所に引き続き要望し、町ができる協力をしていく。
通学路・生活道路の整備は、町が住民と協力して進めるべきだ。

問 小針新宿区内の西光寺入口より、希望ヶ丘団



整備されていない希望ヶ丘通り (小針新宿)

地先の大通りまでの道路をU字溝を含めて道路整備すべきだ。(H17年に質問したが進捗がない)

答 過去の経緯もあり、認識はしている。西光寺入口より希望ヶ丘団地までを1期工事とし、その先を2期工事で道路整備を進めていければと考えている。それには、町道路後退用地整備要綱に基づき、住民の同意をいただき、町も努力する。

問 道路が狭く、火災が発生した現場にどのように行くのか。

答 近隣の消防水利から連携して消火活動を行うっていく。

幅員が広がったほうが好ましいと考えている。

決算 特別委員会

平成27年度の一般会計他全7会計の決算を審査するため、議長および監査委員を除く議員14名による決算特別委員会を設置し、10月31日・11月1日に審査します。

委員長あいさつ



委員長 齋藤 照夫



副委員長 栗原 恵子

この度、決算特別委員会の委員長に任命されました。

これは、平成27年度に執行された予算が適切に使われたか審査をする委員会です。町民の皆様からお預かりをした大事な税金が、適切また無駄のないように使用されたかを審査をするものです。全委員の協力により、間違いのないように精査致したいと思います。